

下諏訪町

令和7年度 優秀映画鑑賞推進事業

おづやすじろう

小津安二郎 特集

令和8年1月24日（土）

午前10時 ひがんばな
彼岸花 (約120分)



1958年 松竹（大船）・小津安二郎監督

午後1時 ばくしゅう
麦秋 (約125分)



1951年 松竹（大船）・小津安二郎監督

令和8年1月25日（日）

午前10時 とうきょうものがたり
東京物語 (約140分)



1953年 松竹（大船）・小津安二郎監督

午後1時 さんまのあじ
秋刀魚の味 (約115分)



会場 下諏訪総合文化センター 大ホール

入場料 1日(2本) 大人：1,000円 高校生以下：500円

販売 令和8年1月13日（火）午前9時～各上映日の午後2時

文化センター窓口・電話・インターネットのいずれかからお申込み下さい

開場時間 各上映時間の30分前に開場



お申し込み
フォーム

監督 おづやすじろう (1903~1963)について

“小津調”と呼ばれる独特なアングル・作品感を確立した、日本映画界を代表する監督の一人。晩年は蓼科高原で脚本を執筆しており、諏訪地方にも縁が深い。



主催：国立映画アーカイブ 下諏訪町 下諏訪町教育委員会 下諏訪町優秀映画鑑賞推進事業実行委員会
特別協力：文化庁／一般社団法人日本映画製作者連盟／全国興行生活衛生同業組合連合会／

松竹株式会社／東宝株式会社／東映株式会社／株式会社KADOKAWA

お問い合わせ 下諏訪総合文化センター (☎28-0018)

上映作品紹介 (あらすじ)

ひがんばな 『彼岸花』

小津安二郎監督初のカラー作品です。

里見とんの原作小説を、小津安二郎・野田高梧のコンビが脚色したもので、結婚期にある三人の娘に良い縁談を準備したい親と、自分自身の考えで相手を探す娘、そして容易に意見の合わないそれぞれの家庭の親……。

娘をもつ父親の悩みと喜びを描いた家族ドラマです。

出演：佐分利信、田中絹代、有馬稻子、桑野みゆき、佐田啓二 他

製作：1958年 配給：松竹 時間：118分



ばくしゅう 『麦秋』

小津監督の卓抜したカット割り・シーンつなぎによって、エゴに向き合う人間の孤独と崩れていく大家族への思い、一方で新たに生まれる家族への希望が折り重なった重厚な人間ドラマを描きます。重いだけではなく、自分の考えで生きようとする娘と、娘のためを思っておせっかいを焼く家族、それぞれの描写をコメディチックに切り取った名作です。

出演：菅井一郎、東山千栄子、笠智衆、三宅邦子、原節子 他

製作：1951年 配給：松竹 時間：124分



どうきょうものがたり 『東京物語』

尾道で暮らす老夫婦・周吉ととみは、東京で暮らす子どもたちを訪ねるため久々に上京しますが、長男の幸一も、長女の志げも、それぞれの生活に忙しくて両親を構ってばかりいられません。しかし、唯一戦死した次男の妻・紀子だけは、ふたりに優しい心遣いを見せます。

戦後の家族関係の変化を描いた不朽の名作です。

出演：原節子、笠智衆、東山千栄子、山村聰、三宅邦子、杉村春子 他

製作：1953年 配給：松竹 時間：135分



さんまあじ 『秋刀魚の味』

結婚を巡る父と娘の関係を柱に、老いゆく者の孤独を際立たせた、小津監督の生涯最後の作品です。妻に先立たれ、家事一切を娘に頼っていた男やもめの主人公・平山周平が、結婚適齢期を迎えた長女・路子の縁談を真剣に考えるようになるのですが……。初老のサラリーマン・平山周平と、結婚適齢期を迎えた長女・路子の心情を、ユーモラスかつ細やかに描きます。

出演：笠智衆、岩下志麻、佐田啓二、岡田茉莉子、吉田輝雄 他

製作：1962年 配給：松竹 時間：113分

